

# まなびや

## 学制一五〇年記念企画展の見どころ



### ▼ふくいの子供の学校一五〇年

江戸時代の教育機関には、諸藩が領内に設けた藩校や有名な学者が指導した私塾、庶民に「よみ・かき・そろばん」などを教えていた寺子屋などがありました。

明治時代になると、政府は、欧米諸国の国力に追いつき、発展するため近代化を図ります。教育については、一八七



明治期の学校と子どもたち

二(明治五)年に「学制」を發布して、身分や性別によらず、国民全員が平等に教育を受けられる制度を定めました。これが、現代の私たちが通っている「学校」につながる近代教育制度の始まりとなりました。

展示室では、学制が公布されてから、現代までの学校に刻まれた時間を県内各学校の



漫画による各時代の解説パネル

写真や実物資料などの展示を通して、児童・生徒・先生の織りなす「ふくいの子供一五〇年」の物語として語っていきます。

▼入口からタイムトラベルゲートをくぐると、まずは明治期の学校です。漫画を使って案内役のきんじろう君が、明治▽大正▽昭和▽現代まで分かりやすく説明しています。



明治の教室(石板・垂鈴体操体験)



大正期の学校と子どもたち



【大正自由教育】一〇〇年前の三國尋常高等小学校の授業風景



昭和期(戦前・戦中)の学校と子どもたち



昭和期(戦後)の学校と子どもたち



【アーカイブ】あの頃の学校



学校の写真・沿革変遷検索システム



小学校配置図(150年前・50年前・現在)